==========
** 日本学術会議ニュース・メール　**　No.667 **　2019/1/25
==========

1.【開催案内】日本学術会議 in 北海道　学術講演会
　　「Society 5.0 で北海道が変わる（AI・IoT・RT 技術の地方深化）」

2.【開催案内】日本学術会議主催学術フォーラム
　　「平成 30 年夏に複合的に連続発生した自然災害と学会調査報告」

3.日本学術会議主催学術フォーラム　企画案の募集について

■----------

【開催案内】日本学術会議 in 北海道　学術講演会
　　「Society 5.0 で北海道が変わる（AI・IoT・RT 技術の地方深化）」

----------■

　第 5 期科学技術基本計画では、世界に先駆けた「超スマート社会」の実現、すなわち Society が掲げられています。 AI, IoT, ネットワーク等の高度な情報技術の活用を、ものづくりだけではなく、様々な分野に広げ、経済成長や健康長寿社会の形成、さらには社会変革につなげていくものです。 科学技術の成果があらゆる分野や領域への浸透を促し、地域社会にも大きな変革が期待されています。
　そこで本講演会では、Society 5.0 が地域、特に北海道にとってどのような期待と可能性があるのか、それぞれ専門の立場から講演いただきます。 参加費無料でどなたでも参加できますので、お気軽においでください。

〇主催：日本学術会議
〇共催：北海道大学
〇会場：ANA クラウンプラザホテル札幌　3 階 祥雲
（札幌市中央区北 3 条西 1 丁目 2-9）

〇プログラム
（ポスター）　http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/273-s-0216.pdf
13:30～13:50 挨拶　山極　壽一（日本学術会議会長・京都大学総長）（予定）
　　名和　豊春（日本学術会議連携会員・北海道大学総長）
　　（予定）
13:50～14:30 講演　「Society 5.0 時代における科学技術・イノベーション政策」
　　山脇　良雄（文部科学省文部科学審議官）
14:30～14:40 休憩
14:40～15:20 講演　「ロボット技術とその知能化～現状と社会実装加速に向けての将来展望～」
　　浅間　一（日本学術会議第三部会員

・東京大学大学院工学系研究科教授）
15:20～16:00 講演 「農業における Society 5.0 の実現に向けて」
野口　伸（日本学術会議連携会員
・北海道大学大学院農学研究院副研究院長）
16:00～16:10 休憩
16:10～16:35 総合討論、質疑応答
座長：但野　茂（日本学術会議第三部会員・（独）国立高等専門学校機構理事、函館工業高等専門学校学校長）
16:35～16:45 挨拶　寳金　清博（日本学術会議第二部会員、北海道地区会議代表幹事・北海道大学副学長、病院長）

【参加申込・お問合せ先】
日本学術会議北海道地区会議事務局
（北海道大学 研究推進部 研究振興企画課）
Tel：011-706-2155・2166　Fax：011-706-4873
E-mail：suishin＊general.hokudai.ac.jp
（ 上記 E-mail アドレスの＊マークを@に変えてお送りください。）

■----------

【開催案内】日本学術会議主催学術フォーラム
「平成 30 年夏に複合的に連続発生した自然災害と学会調査報告」

----------■

・日時：平成 31 年 3 月 12 日（火）10 時 00 分～17 時 30 分

・場所：日本学術会議講堂

・主催：日本学術会議

・開催趣旨：
平成 30 年の夏から秋にかけて、日本列島を自然災害が次々と襲った。平成 30 年６月 18 日大阪府北部地震が起こり、平成 30 年７月豪雨（西日本豪雨）は広い範囲に同時多発的な大雨と土砂災害をもたらした。その後の記録的猛暑と連続して発生した台風、９月４日に上陸した台風 21 号は、百の観測点で強風記録を塗り替え、高潮と強風で関西国際空港を孤立させた。９月６日の北海道胆振東部地震は震度７を記録し、山地崩落や火力発電所の被災による北海道全域のブラックアウトを引き起こした。
防災学術連携体、56 学会と日本学術会議は、これらの災害に対応して、ホームページに特設ページを設け、緊急集会、市民への緊急メッセージ、緊急報告会を開催し、各学会の情報を発信すると共に学会間の情報共有を図ってきた。
本フォーラムでは、主に平成 30 年の夏に複合的に連続発生したこれらの自然災害に焦点を当て、各学会の調査報告を行う。さらに、今後、連鎖する気

象災害にどう備えていけば良いのか、地震と気象災害の複合災害にどう備えれば良いのかを議論する。

・次第：http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/272-s-0312.pdf

・定員：先着３００名（参加費　無料）

・お申込み：以下の URL からお申し込みください
https://ws.formzu.net/fgen/S44714662/

・アクセス：東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車、
５番出口（青山霊園方面）より徒歩１分

・問合せ先：
防災学術連携対　榎本和正（日本建築学会）
電話：03-3456-2057
メール：enomoto@aij.or.jp

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当
〒106-8555　東京都港区六本木 7-22-34
電話：03-3403-6295

■----------
日本学術会議主催学術フォーラム　企画案の募集について
----------■

会員、連携会員の皆様へ

現在、日本学術会議主催学術フォーラムの企画案を募集しています。
関心のある方は以下をご確認いただき、手続きの上、お申込みください。

２０１９年度第１四半期追加募集分
開催予定時期　　：２０１９年５月～６月
申込み締切　　：２０１９年１月３１日（木）

２０１９年度第２四半期募集分
開催予定時期　　：２０１９年７月～９月
申込み締切　　：２０１９年２月２８日（木）

・必要書類・手続き等：以下のＵＲＬをご確認ください。
http://www.scj.go.jp/ja/scj/kisoku/106.pdf

★----------☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info　です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

http://krs.bz/scj/c?c=325&m=44545&v=eff7b643

****

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

http://krs.bz/scj/c?c=326&m=44545&v=da1a0010

****

==========

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

==========

発行：日本学術会議事務局　http://krs.bz/scj/c?c=327&m=44545&v=7f91901e

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34